

平成28年度学校評価アンケートの結果と改善策

山形県立楯岡特別支援学校寒河江校

1 平成28年度学校評価アンケートの実施について

(1) 保護者アンケートの実施

記入していただいたアンケート用紙に封をして提出いただき、寒河江校教頭が集計を行った。(対象者 9名)

(2) 教員アンケートの実施

寒河江校教頭が回収し集計を行った。(対象者 8名)

(3) アンケートの集計結果は、学校評価委員会で考察して改善のポイントを職員会議で提案し、その後の学校経営に生かすようにする。

(4) 結果は保護者にお知らせするとともに、ホームページにも公開する。

2 保護者アンケートの集計結果及び考察と改善策 ※別紙集計結果参照

(1) 考 察

① 回答率は100%であった。

② 10項目中6項目で、4(よく当てはまる)と3(やや当てはまる)の段階を合わせた割合が100%になっており、全体的に良好である。

③ ①については4が80%以上であった。

④ 全体の項目の中で平均値が3.6未満という低めの⑤・⑥・⑦・⑩の項目については、保護者への学校の取り組みについての説明が十分でなかったことも背景として考えられる。

⑤ 平均値が3.6未満は下表の通りであった。

項目 番号	設 問 内 容	28年度 平均値	27年度 平均値
5	お子さんにとって、適切な学習目標となっており、内容の「わかる」授業となるように工夫されている。	3.33	3.83
6	学校は、お子さんや保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。	3.56	3.67
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。	3.56	3.67
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍等について、地域に発信ができています。	3.33	3.20

(2) 改善策

①⑤の項目について

- ・個人面談などで、個に応じた学習の課題や内容についてより丁寧に話を聞いたり説明したりするとともに、日常の保護者とのやり取りの中でも、「わかる」授業づくりのための工夫や手立てを伝えていく。
- ・平成29年度の国語と算数の教科の新設に向け、時間における指導の中に位置付けた経緯や学習の進め方を職員で確認し、その内容を、今年度末の配付文書で保護者

に知らせるとともに、来年度の保護者会などで伝えていく。

- ・「分かる」授業づくりのための担任間の情報交換を密に行うとともに、専門性を高める研修の充実に努める。

②⑥の項目について

- ・個人面談などでより丁寧に話を聞いて児童の進路に関する願いや希望を保護書と共有し、進路希望の実現に努めるとともに必要な情報を提供する。
- ・本校および大江校等から進路に関する情報を得て、「進路だより」等を通じて保護者に情報を提供できるようにしていく。
- ・職員と保護者の進路に関する研修会を計画的に実施する。

③⑦の項目について

- ・施設設備面に関しては、予算等の制約があるので、関係機関と連絡調整をしながら学習環境を整え、適正な教室配置になるように努める。

④⑩の項目について

- ・保護者会や配付物を活用して、保護者に、日常の校外学習でたくさんの地域の方とあいさつなどで関わっていることや、地域への情報発信に関わる交流学习等の取り組みについて伝えていく。
- ・里芋体験農業協議大会等の地域の取り組みに参加し、地域とのつながりを深められるようにする。

⑤体調が良くない児童の保護者へのお迎え依頼について

- ・感染症防止や早めの受診の意義などについて保護者に説明し、理解を得るように努めていく。年度始めの保護者会での依頼内容に含める。

3 教職員アンケートの集計結果及び考察と改善策 ※別紙集計結果参照

(1) 考 察

- ① 30項目中平均値3.0以下が5項目であり、昨年度より1項目減っている。
- ② 全体の平均値は、昨年度3.38に対して今年度が3.32と、数値的にはほぼ同様の結果であった。
- ③ 平均値が3.0以下は下表の通りであった。(28年度平均値の太枠)

項目 番号	設 問 内 容	28年度 平均値	27年度 平均値
7	小・中・高で児童生徒理解を共有し、一貫した指導ができてい る。(全)	3.00	3.00
10	児童生徒の実態に応じたキャリア教育や進路先の決定ができ ている。(個)	3.00	3.00
11	卒業後の進路に関連する情報を収集し、保護者への提供に努め ている。(個)	2.88	2.60
20	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信が なされている。(全)	3.00	3.00
21	交流教育が適切に実施されている。(全)	3.25	3.00
23	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。(全)	3.38	3.00
30	多忙感や負担感の解消に向けた取り組みがなされている (全)	3.00	3.20

(2) 改善策

7 10・11 の項目について

- ・キャリア教育構想図の内容に関連付けて、年度始めや年度末の小学部会で教育活動を見直し、小・中・高の一貫性のある小学部経営や学級経営を行えるようにする。
- ・職員の進路に関する研修を充実させ、小学部のうちに育てたい力や課題を明確にして指導をする。
- ・保護者のニーズを確認して必要な情報を提供できるように、本校や大江校の協力を得たり関係機関と連携したりしながら、職員の進路に関する研修を充実させる。

20 の項目について

- ・児童の教育的ニーズに応じて居住地校交流や学校間交流の推進を図る。
- ・ホームページの活用を図る。
- ・学校案内のリーフレットを作成し、地域の教育委員会や学校、関係機関に配付して、学校見学等の手順を明確にするとともに、寒河江校の教育活動について発信できるようにする。

30 の項目について

- ・「物と情報の整理」と「早めの計画立案」の実施に努めていく。
- ・時期により個人への負担が大きくなる状況の場合は、年度当初の役割分担の計画を見直すようにする。
- ・教育相談等の外部支援業務については、相手校の都合等の延期も考慮して日程を調整する。
- ・会議や委員会等の運営の仕方を整理し、見通しをもって準備業務等を行えるようにする。今後も、代理出席や欠席者対応のための会議延期をなるべくしないようにする。

平成28年度 山形県立楯岡特別支援学校寒河江校 学校評価〈保護者アンケート集計結果〉

番号	設 問	人					%				平均
		4	3	2	1	合計	4	3	2	1	
1	お子さんは、学校に行くことを楽しく思っている。	8	1	0	0	9	88.89	11.11	0	0	3.89
2	学校や学級担任はお子さんの教育について、よく話を聞いてくれる。	7	2	0	0	9	77.78	22.22	0	0	3.78
3	学校や学級担任は、お子さんの学校での様子をよく伝えてくれる。	7	2	0	0	9	77.78	22.22	0	0	3.78
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。	6	3	0	0	9	66.67	33.33	0	0	3.67
5	お子さんにとって、適切な学習目標や内容の「わかる」授業が工夫されている。	4	4	1	0	9	44.44	44.44	11.11	0	3.33
6	学校は、お子さんや保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。	6	2	1	0	9	66.67	22.22	11.11	0	3.56
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。	5	4	0	0	9	55.56	44.44	0	0	3.56
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。	6	3	0	0	9	66.67	33.33	0	0	3.67
9	お子さんにとって意義のある学校行事の企画・運営がなされている。	7	1	1	0	9	77.78	11.11	11.11	0	3.67
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍等について、地域に発信が来ている。	4	4	1	0	9	44.44	44.44	11.11	0	3.33
※1 10の質問項目に対し、4段階で評価しました。 (4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)											3.62

【自由記述欄より】 ちょっとしたことですが子どもを家に帰そうとする風潮が感じられ、保護者としては負担に思うこともあります。

平成28年度 山形県立楯岡特別支援学校寒河江校 学校評価 〈教職員アンケート集計結果〉

項目・番号		質 問 内 容	4	3	2	1	計	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	平均
1 教育内容の充実	1	学校教育目標や方針を意識し、具体的な取り組みにつなげている。(個)	2	6	0	0	8	25.0	75.0	0.0	0.0	3.25
	2	児童生徒の実態に応じた目標や学習内容になっている。(個)	5	3	0	0	8	62.5	37.5	0.0	0.0	3.63
	3	児童生徒が十分に活動し、達成感の持てる授業が実践できている。(個)	3	5	0	0	8	37.5	62.5	0.0	0.0	3.38
2 教育計画・指導方法	4	児童生徒の実態や障がい特性を踏まえ、指導方法を工夫している。(個)	6	2	0	0	8	75.0	25.0	0.0	0.0	3.75
	5	T Tの授業では、役割分担を明確にして実施している。(個)	3	5	0	0	8	37.5	62.5	0.0	0.0	3.38
	6	個別的教育支援計画及び個別の指導計画について見直しを行い指導に活用している。(個)	4	4	0	0	8	50.0	50.0	0.0	0.0	3.50
3 小・中・高一貫教育	7	小・中・高の児童生徒理解や教育課程で一貫性のある指導ができている。(全)	1	6	1	0	8	12.5	75.0	12.5	0.0	3.00
4 保護者との連携	8	保護者の悩みや相談事に丁寧に耳を傾け、学習や生活上の課題を共有できている。(個)	3	5	0	0	8	37.5	62.5	0.0	0.0	3.38
	9	保護者の意向を個別的教育支援計画や個別の指導計画に生かし、授業等に反映させている。(個)	4	4	0	0	8	50.0	50.0	0.0	0.0	3.50
5 進路指導	10	児童生徒の実態に応じたキャリア教育や進路先の決定ができている。(個)	1	6	1	0	8	12.5	75.0	12.5	0.0	3.00
	11	卒業後の進路に関連する情報を収集し、保護者への提供に努めている。(個)	1	5	2	0	8	12.5	62.5	25.0	0.0	2.88
6 保健安全指導 危機管理	12	健康と安全についての指導を計画的に行っている。(個)	5	3	0	0	8	62.5	37.5	0.0	0.0	3.63
	13	児童生徒の障がいや疾病等について、養護教諭または関係医療機関と連携して対応している。(個)	5	2	1	0	8	62.5	25.0	12.5	0.0	3.50
	14	日常の食育指導を適切に行っている。(個)	5	3	0	0	8	62.5	37.5	0.0	0.0	3.63
	15	教室及び学習環境等の整理整頓を意識して行っている。(個)	2	6	0	0	8	25.0	75.0	0.0	0.0	3.25
	16	危機管理及び災害避難訓練が適切に行われている。(全)	4	4	0	0	8	50.0	50.0	0.0	0.0	3.50
7 生徒指導	17	児童生徒の生徒指導上の課題を把握し、指導の手立てを講じている。(個)	4	4	0	0	8	50.0	50.0	0.0	0.0	3.50
8 専門性の向上	18	学校研究及び自己研修に課題意識を持ち取り組んでいる。(個)	3	5	0	0	8	37.5	62.5	0.0	0.0	3.38
	19	地域に対し、特別支援教育のセンター的機能を果たしている。(全)	4	4	0	0	8	50.0	50.0	0.0	0.0	3.50
9 開かれた学校づくり 交流教育 関係機関連携	20	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。(全)	1	6	1	0	8	12.5	75.0	12.5	0.0	3.00
	21	交流教育が適切に実施されている。(全)	2	6	0	0	8	25.0	75.0	0.0	0.0	3.25
	22	高松小学校、医療、福祉、労働等の関係機関と連携が適切に行われている。(全)	2	6	0	0	8	25.0	75.0	0.0	0.0	3.25
11 学校運営	23	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。(全)	3	5	0	0	8	37.5	62.5	0.0	0.0	3.38
	24	学校運営に教職員の意見が反映されている。(全)	2	6	0	0	8	25.0	75.0	0.0	0.0	3.25
	25	校務の分担が適切に行われ、協働体制ができている。(全)	1	7	0	0	8	12.5	87.5	0.0	0.0	3.13
12 組織 諸会議	26	校務組織が機能的に整備されている。(全)	1	7	0	0	8	12.5	87.5	0.0	0.0	3.13
	27	職員会議及び諸会議の設定が適切であり、機能している。(全)	1	7	0	0	8	12.5	87.5	0.0	0.0	3.13
13 服務の意識	28	日々の教育課題や悩みなどを気軽に相談し合える職場の人間関係ができている。(全)	2	6	0	0	8	25.0	75.0	0.0	0.0	3.25
	29	服務規律を尊重し、事故や不祥事の未然防止について、自分のこととして受け止め努力している。(個)	3	5	0	0	8	37.5	62.5	0.0	0.0	3.38
	30	多忙感や負担感の解消に向けた取り組みがなされている。(全)	2	4	2	0	8	25.0	50.0	25.0	0.0	3.00
※1 設問内容の(個)は、教員自身の取り組み状況を、(全)は、学校全体の取り組み状況に対する評価です。 ※2 30の質問項目に対し、保護者の方の場合と同様に4段階で評価しました。 (4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)												3.32

【自由記述欄より】 評価の提出後とはいえ、相談部教員が一週間の中で2回の巡回相談を行うのは大変な面がある。(配付物、学期末の学習準備がある。)年度始めや学期始めに依頼を集約・調整できるようなシステムもある。

※3 教育相談的な内容の巡回相談が、対象児童の欠席により1週間延期となったため、1週間のうちに2回の巡回相談を実施した経緯がある。